

議場にスクリーンなどの映像装置導入へ

議会各派代表者会議で合意

市議会の各派代表者会議が11日に開催され、市議会の新年度予算要求の検討を行いました。

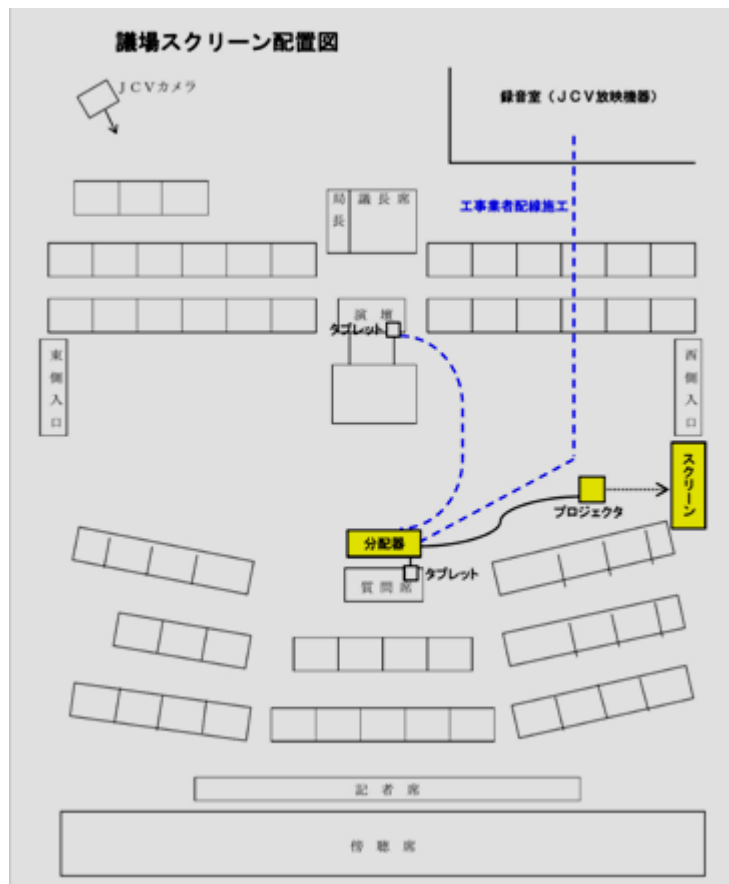
そのうちの1つは、議場での映像設備導入です。既報のように、議場での映像設備導入については、議会各派のメンバーが入った検討会でモニターかスクリーンかで議論があり、最終的にはスクリーン1台、プロジェクター1台で合意していました。11日の代表者会議はそれを最終確認したことになります。

プロジェクターは、照明をつけたままでも見えやすい光量の強いものにし、スクリーンは120インチ程度の自立式を予定しています。プロジェクターの映像はJCVの放送でも映し出されます。また、議場外への持ち出しも可能です。

プロジェクターやスクリーンの設置場所については右の図の通りです。概算要求額は140万円ほどになる予定です。

このほか議員に貸し出ししているタブレット（レンタル）が5年目に入っていることから、新年度に、新たなタブレット端末に入れ替えることになりました。この経費は約118万円です。

それと、常任委員会などの会議を行う委員会室放送設備についても新たな機器を導入することになりました。これまでの機器は導入から20年以上経過しているものもあり、雑音混入や記録用カセットデッキの動作停止などが発生していました。これらについては令和5年2月からの導入を想定し、予算要求額は31万円ほどです。



空き家情報バンク最新情報

上越市では、空き家の有効利用と市外からの定住を促進するため、空き家情報バンク制度を設けています。右の表は、10月4日現在の最新情報です。詳しくは市役所建築住宅課(025-526-5111)にお聞きください。



市民連合・上越では、23日の午前11時から、および29日の午後3時から、それぞれ約1時間、かに池交差点でスタンディングを行うことにしています。イラストはその呼びかけビラから。

所在地	売買価格	間取り
安塚区松崎	100万円	5DK
安塚区上船倉	100万円	3LDK
浦川原区有島	600万円	7DK
柿崎区下小野	200万円	7DK
柿崎区上下浜	400万円	3K
柿崎区下牧	4400万円	2LDK
中郷区二本木	200万円	7DK
板倉区山部	800万円	4DK
板倉区中之宮	400万円	8K
三和区岡田	180万円	11K
高田東本町2	200万円	5DK
高田南本町3	680万円	6DK
金谷区向橋	1500万円	5SK
直江津栄町1	1250万円	8DK
有田区川原町	2800万円	10LDK
保倉区長岡	1080万円	7DK



【クルマバハグマ】(再掲)キク科の多年草。漢字で「車葉白熊」と書きます。葉が車状に輪生していて、8枚ほどつきます。花期は8月~9月、線香花火のような感じで花が咲きます。花は終わりに近づいていますが、今年はまだ見ることが出来ます。写真は10月14日、吉川区小苗代にて撮影しました。

はしづめ法一の活動レポート

No.2033 2021.10.24

発行編集 上越市議 橋爪のりかず

Tel 025-548-3628

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznyg_0808@yahoo.co.jp

URL <http://www.hose1.jp/>



ブログ
「ホーセの見
てある記」は
← こちら

橋爪法一

検索

春よ来い

第六七〇回 Tさんの緊急入院

二か月前ほど前のことです。午前九時過ぎだったと思います。スマホ画面の見知らぬ電話番号を見ながら、どなただろうと電話に出ると、親戚のお母さんが入所している介護施設からでした。

突然の電話ですので、悪い知らせかもしれないと緊張しました。電話をくださったスタッフの話によると、親戚のお母さん・Tさんは、その日、急に右足の動きがおかしくなり、朝の食事もいつもとは違うという事でした。それで、「これから病院へ行きます。また電話させてもらいます」という連絡だったのです。

施設のスタッフによると、東京在住のTさんの子どもさんに電話をされたけれども、連絡が取れなかったということでした。それで私のところへ連絡が来たのです。Tさんの近間の親戚となるとわが家ですので、入所時に施設に提出した書類では、私が二番目の連絡先になっていました。

その日は、午前十一時から議会運営委員会でした。緊急事態なので、いつ病院から呼び出しがあるかも知れない。ならば、誰かに代わってもらおうと考えたのですが、そもそも同僚議員が都合悪いから私が代理出席することになっていた会議でした。議会の関係者に「場合によっては抜けさせてもらうこともある」と伝え、参加しました。でも、病院へ行っていた介護施設のスタッフからの連絡は会議終了後になりました。

私が病院へ駆けつけたときは検査が終わったところでした。検査室から出てきたTさんにマスクを外して私の顔を見せたところ、すぐ反応してくれました。「まあ、おまさん来てくんなったがかね、ありがとね」。私を見つめる目と口の動きから、その読みとれました。そして医師から検査結果の説明を受けるまでの間に、私のスマホに保存してある母の写真を見せると、Tさんは涙を流して喜んでくれました。あまり

にもうれしそうだったので、私まで涙が流れました。

Tさんの病気は数年前に救急車で運ばれたときと同じ脳内出血でした。今回、医師からは、今後、次々と出血するおそれがあると言われ、とりあえずは、入院して治療を受けるということになりました。

検査後は介護施設のスタッフの方から手助けをしてもらって入院手続きをしました。市役所に戻って、もらわなければならぬ書類もあって、最終的に入院手続きが終わったのは午後四時過ぎでした。

この間、有り難かったのは、介護施設のスタッフの方がずっと寄り添ってくれたことです。スタッフは二人、いずれも大島区在住の方でした。このうち一人の方は以前看護職についておられたことがあったので、医師の専門的なことについて詳しく、助かりました。いま一人は私の子どもくらいの年齢の方でした。話をするなかでわかったのですが、その人の両親は何と私がよく知っている人でした。それだけで気持ちが楽になりました。

その日の夕方、おかげ様でTさんの子どもさんとも連絡を取ることが出来ました。ある人に「たいへんだったね」と声をかけていただきましたが、私としてはPCR検査を身近なところで経験したり、介護スタッフの方と新型コロナウイルスでの介護の実態などについても聞くことが出来ました。ですから勉強にもなりました。あとは、Tさんの病状が悪化せず、回復してくれることだけを祈りました。

Tさんのその後の経過は順調で、九月中旬に無事退院することが出来ました。退院の日、Tさんの子どもさんも東京からやってきました。母親と言葉を交わすことは出来ませんでした。遠くから目や手で合図を送りあうことが出来たようです。Tさんはどんなにつれしかかったかよくしっています。

清里区荒牧の草遊庵で3人展

17日の夕方、清里区荒牧に行ってきました。藤田一枝さん所有の「草遊庵」で開かれていた女性3人（藤田さんのほか梅沢イサヲさん、岡本尚子さん）の絵画展を観るためです。

赤いバラやひまわりなどの花を描いた絵、森の中の池や海岸部などの風景画、人物画などが展示されていました。いずれも建物の中の配置をうまく活用してあって、作品と部屋の雰囲気はぴたりと合っていました。当日

はあいにくの雨だったのですが、雨だったからこそ、絵がより素敵に見えるところもありました。

藤田さんの草遊庵は初めての訪問でした。会場の建物が凝った造りで圧倒されました。絵画以外にも魅力的なものがたくさん展示されていました。なかでも私が気に入ったのは銅製の「はんぞ」（牛のエサ入れ）です。懐かしさで胸がいっぱいになりました。

会場では3人の女性の絵画指導をされている大口満さんとも会うことができ、しかも作品解説までしていただきました。藤田さんは私がお世話になった元清里村長の梅沢さんとゴキョウダイでいらして、娘さんは吉川診療所で看護師をされていた方でした。世間は狭いです。話しが弾みました。



ニュースフラッシュ

上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	10月13日(水)	10月20日(水)
上越南消防署	0.050	0.057
上越北消防署	0.043	0.057
新井消防署	0.057	0.057
頸北消防署	0.057	0.053
頸南消防署	0.057	0.070
東頸消防署	0.047	0.053
名立分遣所	0.053	0.057
高士分遣所	0.057	0.057